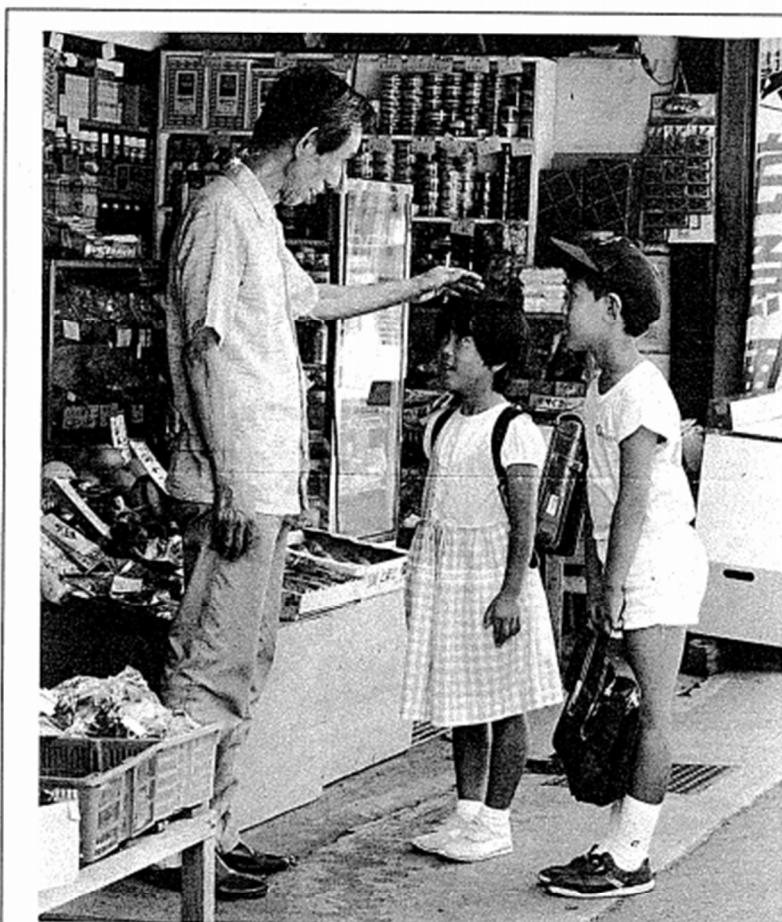




滋賀県厚生部同和対策課 (大津 34-1121)



大津市内にて

育てていこう差別のない社会

「おはよう!」「ヤァー」気分すっきり

昭和 60 年度 同和问题啓発強調月間行事案内

- 街頭啓発** 9月2日(佛)……県下主要駅など
- 名画サロン** (西武大津店6階 コミュニティールーム) (上映時間) (題名)
 (併せて 人権ポスター展) 9月6日(金) 14:00……「泥の河」 「9時から5時まで」
 9月7日(土) 13:00……「泥の河」 「9時から5時まで」
 「ロンリーウエイ」
 9月8日(日) 14:00……「招かれざる客」 「終電車」
 9月9日(月) 14:00……「招かれざる客」 「終電車」
- 同和问题講演会** 9月7日(土) 13:30~16:00……長浜文化芸術会館
 「心やさしいことについて」 映画監督 若杉光夫氏
 啓発映画「誕生」(若杉監督) 同時上映
- 啓発映画放映** 9月22日(日) 16:00~17:00……びわ湖放送
 「道」(北九州市製作)
- テレビ座談会** 9月29日(日) 17:00~18:00……びわ湖放送
 同和问题の課題と展望 - 同対審答申から20年 -
 (出演者) 飯田 富一氏 長田 忠男氏 柳原 太郎氏
- ラジオ啓発スポット放送(9月2日~30日のウイリアー 近畿放送)
 人権作文ラジオ放送(9月2日~13日 近畿放送 小学生人権作文)を行います

同和问题

啓発強調月間によせて

「同和问题は人間性のある人間に由来するものである」とは、基本的には、人権問題に由来するものである。人権とは、人間として当然に持つべき権利であり、国家や地域、民族、宗教、職業、性別、年齢、障害の有無にかかわらず、すべての人間に平等に認められるべきものである。

同和问题の啓発は、この「人権」という概念を、具体的な生活の中で理解し、実践できるようにしていくことである。同和問題は、単に「差別」として捉えられがちだが、それは結果論である。問題は、なぜ差別が生じているのか、その背景や原因を理解し、それを是正していくことにあり、そして、互に尊重し、共生していく社会の実現を目指すことである。

同和問題は、社会的な問題であり、同時に人間的な問題でもある。私たちは、個々の人間として、互に尊重し、助け合い、共に生きていく責任を負っている。同和問題の解決は、一人ひとりの心がけと行動にかかっている。同和問題を理解し、啓発を通じて、差別のない社会の実現をめざして努力しよう。

9月は「同和问题啓発強調月間」です

わたしたちは、「かけがえない人間」として、幸せに生きていこうという願いをもって生きています。すべての国民は、この願いを具現するための権利が保障されています。

しかし、現実には、この権利の保障もなく、長い差別の歴史を背負って生きていく人々がいます。同和問題は、この最たるものです。

県では、この問題解決の一つに、県民のみならず、国民のみなさん(の理解)「力」を得て、啓発「力」をすすめてきましたが、差別問題はなかなか片付いていません。そこで、一日も早い解決のために、今年から毎年9月を「同和問題啓発強調月間」と定め、集中的に啓発行事を展開していくことにしました。

国や県、市町村の同和对策に理解をいただき、人権尊重の精神を生かして、差別のない明るい社会の実現のために、一層のご協力をお願いします。

同和問題は、社会的な問題であり、同時に人間的な問題でもある。私たちは、個々の人間として、互に尊重し、助け合い、共に生きていく責任を負っている。同和問題を理解し、啓発を通じて、差別のない社会の実現をめざして努力しよう。